

特別支援学校(知的障害)と小学校との「交流及び共同学習」

<実践の概要>

学 年	特別支援学校	小学校
	小学部4年	4年(通常の学級)
交流学習の時間	9時30分から10時15分	
教科・領域等	生活単元学習	特別活動
実施時期	10月中旬	
単元/題材名「仲良くなろう」		
主 な 活 動 内 容		
<p>交流活動</p> <p>1 事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に活動の内容を伝えたり、練習したりすることで、見通しをもつことができるようにする。 <p>2 当日の活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 始めの挨拶 ② 自己紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の後に、写真などを用いてこれまでの学習で頑張ってきたことを発表し、特別支援学校や本校児童に関する理解を深められるようにする。 ③ 受入校4年生の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・学級紹介をした後に、音楽の学習で取り組んでいるリコーダーの演奏をし、受入校の児童について知ることができるようにする。 ④ ダンスをしよう <ul style="list-style-type: none"> ・受入校児童がダンスを発表する。本校児童は、受入校児童と一緒に手をつないでリズムを感じながら楽しく活動できるようにする。 ⑤ パラバルーンをしよう <ul style="list-style-type: none"> ・一緒にパラバルーンを動かしたり、風を感じたりして仲良く交流できるようにする。 ⑥ 終わりの挨拶 		

<実践の成果と課題>

<成果>

- ・受入校児童が、司会進行で話をする際は本校児童の方を見て話したり、座って話を聞く際は近くに寄って座ったりするなど親睦を深めようとしていた。
- ・昨年度、本校児童が体調を崩して交流活動ができなかったことについて、受入校児童が残念だったことや今年度は交流学習ができてうれしいことを話していた。
- ・受入校児童が、パラバルーンの活動中に、本校児童の様子を気に掛けながら「もっと静かにやろう。」などと遊び方を工夫していた。

<課題>

- ・安全に配慮して活動を行ったが、もう少し広くて天井が高い場所だと良かった。

<これまでの効果的な取組や実践エピソード等>

- ・事前の打ち合わせのときに、本校児童は目が見えにくいので、「握手をしましょう。」などと声を掛けて存在を知らせてから触れてもらえると安心して関わられることを伝えていたところ、当日は、受入校の児童がそのように関わり安心して活動に取り組むことができた。
- ・パラバルーンの活動は、手に持ったバルーンの振動から周囲の友達の動きが伝わり、風を受けて心地よさそうな表情をしていた。
- ・終わりの挨拶後、教室を退出した途端に本校児童が泣き出した。まだ一緒に活動したかったようで充実した交流となった。
- ・受入校の教頭先生から「学習発表会や運動会に遊びに来てください。」とお話をいただき、保護者の方が喜んでいました。